

～3月は自殺対策強化月間です～

気付いてますか？心のサイン

3月は生活環境が大きく変化し、ストレスを多く受けやすい時期になります。ストレスが長く続いたり、いくつも重なったりすると、心の健康を損ねることがあります。心のサインに気づき、早めに相談しましょう。

○お問い合わせ
地域保健課精神保健係
☎27-8557

■心の不調に気付いてますか？

うつ病の早期発見と適切な治療が自殺予防の第一歩です。最近（ここ2週間）を振り返り、該当する項目があるかチェックしてみましょう。

Check 1

- ・毎日の生活が充実していますか ☐いいえ
- ・これまで楽しんでいましたが、今も楽しんでできていますか ☐いいえ
- ・自分は役に立つ人間だと考えることができますか ☐いいえ
- ・以前は楽にできていたことが、今では面倒に感じますか ☐はい
- ・訳もなく疲れたような感じがしますか ☐はい

2つ以上該当した場合は、注意が必要です。早めに心のケアをしましょう。

Check 2

- ・死（自殺に結びつくような死）について何度も考えますか ☐はい
- ・気分が落ち込んで自殺について何度も考えますか ☐はい

Check 3

- ・最近ひどく困ったことやつらいと思ったことがありますか ☐はい

Check 2で1つ以上またはCheck 3に該当した場合は、早めに受診・相談をしましょう。

■あなたも大切な人のゲートキーパー

本人が気付いていなくても家族や職場の方など、周囲が気付いてあげられることもあります。大切な人のサインに気付いたら、早めの休養や相談を受けるよう勧めてください。

気付く：いつもと様子が違うと気付いたら、声を掛け、話を聞く
つなぐ：否定せずに最後まで相手の話に耳を傾け、必要な支援につなぐ

見守る：話しやすい環境をつくり、寄り添う

■相談窓口

市では、心の健康や発達障がい、引きこもり、アルコールなどに関する相談を受け付けています。詳しくは、同課へお問い合わせください。

■その他の窓口

○福島いのちの電話（☎024-536-4343）

10時～22時

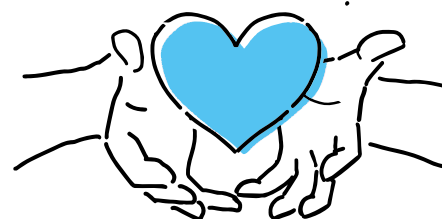
○よりそいホットライン（☎0120-279-226）

ボランティア功労者厚生労働大臣表彰

▷おはなしたまてばこ＝中央台

同表彰は、福祉分野などのボランティア活動に顕著な功績のあった個人や団体に授与されるものです。市立図書館での定期的な読み聞かせ等、児童などへの奉仕活動に大きく寄与したことが評価されました。

気付く つなぐ 見守る



新型コロナウイルスワクチン

小児接種（5～11歳）を開始

国において、5歳から11歳の方への新型コロナウイルスワクチン接種の実施を決定したことを受け、市では希望する方へのワクチン接種を開始します。

○お問い合わせ
ワクチン接種コールセンター
☎0120-053-500

小児接種の概要

一月下旬から二月にかけて市内における新規感染者数は、これまでにない急激な感染拡大を見せ、これに伴い児童施設や学校などで子どもの集団感染が相次いで発生しました。お子さんが感染しないためには基本的な対策を徹底するとともに、感染した場合には備えてワクチン接種について考えてみましょう。重症化予防などの効果と副作用などとのリスクの両面をお子さんと保護者の双方が正しく理解した上で、ワクチン接種をするかどうか判断してください。

▼対象者 五歳から十一歳の方

▼ワクチンの種類 ファイザー社製小児用ワクチン

▼接種回数 三週間の間隔を空けて二回接種

▼接種順位 接種対象年齢の大きい十一歳から順に予約券を発送

▼予約方法 市の予約サイトまたは小児接種専用ダイヤルへ電話（☎30・9001）で

1 接種スケジュール

とき	内容
2月22日から	順次、接種券の発送を開始
2月24日から	予約受け付けを開始
3月7日(月)から	個別接種を開始
3月12日(土)から	集団接種を開始

予約サイトはこちら

▶URL <https://iwaki.hbf-rsv.jp>

ワクチン接種に関する最新情報は、市ホームページに掲載するほか、市公式LINEなどのSNSで配信していますので、ぜひ、活用してください。



予約サイト



市HP



市公式LINE

2 接種体制

接種体制	ところ	接種人数
個別接種	25カ所の医療機関（※1）	最大1,460人／週
集団接種	いわきグリーンベース（※2）	最大800人／週

※1 接種可能な医療機関一覧のチラシは接種券に同封します。

※2 小児用の集団接種は土・日曜日のみ運営します。

接種する・しないについては、不安を抱えたまま受けるのではなく、お子さんと保護者が納得して、ワクチン接種していただくことが大切です。

- 1 お子さんのワクチン接種は保護者の同意と立ち合いが必要です。
- 2 ワクチン接種当日は可能な限り親子（母子）健康手帳を持参してください。
- 3 ワクチンについての疑問や不安があるときはかかりつけ医などに相談してください。

小児接種について詳しくは、日本小児科学会「新型コロナウイルス関連情報」をご覧ください。



夜間中学に関する ニーズ調査を実施

公立夜間中学の設置または自主夜間中学の支援などについて本市の方針を検討する基礎資料とするため、夜間中学に関するニーズ調査を行います。

夜間中学はどんなところ？

夜間中学は、公立中学校が夜間に開設する学級で、主に中学校までの義務教育課程を学ぶものです。法律に基づき設置される公立の夜間中学のほか、教員OBの方等がボランティアなどで教える民営の自主夜間中学があります。

中学校の卒業資格が欲しい方や中学校の学習内容を学び直したいという意欲のある方が通うことができます。さらに、近年では、病気や不登校などで十分に義務教育を受けられなかった方が通う学びのセーフティーネットとしての機能を果たしているほか、仕事などで来日した外国籍の方が日本語を学ぶために通うなど、新たなニーズも生まれています。



ニーズ調査の内容

夜間中学で学びたい方の状況や学びたい理由、どのような教科・形態で学びたいかなどの5項目です。夜間中学を必要とされている方や興味をお持ちの方などは、ぜひ、回答してください。

ニーズ調査の回答方法

アンケートフォームから回答するか、各支所・公民館に備え付けのチラシ（市ホームページからも入手可）に回答を記入し、同課または各公民館へ持参提出してください（可）。

回答期限
4月30日(土)



アンケートフォームはこちら▶

○お問い合わせ
生涯学習課生涯学習係
☎22-7556 ㊟21-9158

調 査 事 項

問1 夜間中学で学びたい、又は夜間中学を必要としている方はどなたですか？
☐自分 ☐家族 ☐友人・知人 ☐職場の同僚・部下
☐その他（ ）

問2 あなた（又はその人）が夜間中学で学びたい理由はなんですか？
☐中学校を卒業したいから（卒業資格が欲しい）
☐中学校は卒業しているが、十分な学習ができなかったので、学び直したいから
☐外国出身の方などで、日本語を学びたいから
☐その他（ ）

問3 あなた（又はその人）が夜間中学で学ぶ場合、どのような教科を学びたいですか？
☐中学校のすべての教科（9教科）
☐特定の教科（下記から選択してください）
☐国語（日本語） ☐外国語（英語） ☐数学 ☐社会
☐理科 ☐美術 ☐音楽 ☐保健体育 ☐技術・家庭

問4 あなた（又はその人）が夜間中学で学ぶ場合、どのような形態を希望しますか？
☐公立中学校と同様の3年間の授業
☐本人の都合に応じた不特定の授業
☐日程を定めた定期的な授業（下記から選択してください）
☐週1日 ☐週2日 ☐週3日 ☐週4日 ☐毎日
☐土・日・祝日のみ

問5 あなた（又はその人）について教えてください。
 (1) 年 齢 ☐10代（現中学生） ☐10代（中学生以外）
☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代以上
 (2) 中学卒業 ☐卒業している ☐卒業していない
 (3) 出身国 ☐日本 ☐外国（国名： ）
 【ご意見・ご要望】
 （ ）

令和3年度市農林業賞表彰

＝年齢は2月8日現在。敬称略＝

○個人・団体の部

▷平塚宏(㊟)＝小川町塩田

大規模集積で効率的な農業経営を行うほか、農村環境保全に従事するなど、地域を代表する農業者として、本市農業の振興に貢献しました。

○青年の部

▷助川成光(㊟)＝錦町

生産技術の向上に取り組みながらブランドトマトを生産するほか、消費者との交流を図り、地域振興や農業への理解促進に貢献しました。

○貢献の部

▷株式会社荒川材木店＝勿来町

いわき産の木材を活用した居宅建築の普及や持続可能な森林資源の確保に取り組むなど、90年以上にわたり本市林業の振興と発展に貢献しました。



好間工業団地を活用

令和元年東日本台風では、特に平窪・赤井・好間地域で、住宅に加えて自動車が高水で被災し、移動手段を失ったことで多くの市民の皆さんが、その後の生活再

市では、災害が発生したまたは発生する恐れがある場合に備え「避難所」などを指定しています。また、近年は新型コロナウイルス感染症への感染リスクを避ける観点から「車中避難」を選択肢の一つとするため、民間施設内の駐車場などを「災害時緊急一時避難施設」として活用する取り組みを進めています。

これまでの取り組み

建に支障を来しました。「いわき市台風第十九号における災害対応検証委員会」の最終報告書でも「避難所内の駐車場不足」などが課題とされました。今回、被災地域に高台が少ない状況に配慮し、好間工業団地内を「災害時緊急一時避難施設」として活用できるよう、関係事業者などと協議を進めてきた結果、十六社から駐車場などの提供について承諾を得られました。市が所有するスペー

スと合わせ、最大で約千五十台分の避難スペースを確保することができました。今後、順次、協定を締結し、災害の規模に応じて施設の開設を決定します。施設の場所等は市防災メールなどを通じて市民の皆さんにお知らせします。

○お問い合わせ
危機管理課
危機対策係
☎22・7551

東京海上日動火災保険株式会社とスマートシティの推進に関する連携協定を締結

市は、2月3日に、東京海上日動火災保険株式会社福島支店と同協定を締結しました。

同協定に基づき、双方の資源を有効に活用し、サイバーセキュリティの高度化・ヘルスケア・スマートモビリティ・環境に優しい取り組みなどを推進するため、相互に協働・連携を図りながら取り組んでいきます。



スマートシティの実現を目指すため連携協定を締結

第一生命保険株式会社と地域活性化包括連携協定を締結

市は、2月4日に、地域社会の発展と市民サービスのさらなる向上を図るため、第一生命保険株式会社福島支社と同協定を締結しました。

同協定に基づき、健康づくり・健康増進やスポーツ振興、女性活躍推進に関することなどを通じて、活力ある個性豊かな地域社会の形成などに連携して取り組んでいきます。



地域の諸課題に迅速かつ適切に対応するため協定を締結